

平成 29 年 12 月 5 日

施設整備部会部長 佐藤 千明 様

木更津市教育委員会

富岡小学校・馬來田小学校統合準備会施設整備部会  
意見報告に対する回答

施設整備部会が出された意見につきまして、下記のとおり回答いたします。

## 記

## 1. 委員より出された意見等について

(1) 引越しに関連して

学校備品（生徒及び教員の机、イス、ロッカー等）を除き、富岡小学校には、初代校長の寿蔵碑・学校創立百十周年記念の関係碑が三基・精密日時計などがある。また、卒業記念樹のキンモクセイ、鎌足桜保存会から寄贈された鎌足桜、小学3年生児童が不慮の死を迎えた際に作られた観察池「みさおの池」などがあるが、これらは学校に古くからある思い出の品であるので、跡地利用の関係もあるが、出来れば現地に残していただきたい。

学校備品の整理については、平成30年の夏休みまでに、教育委員会並びに学校で協力し、必要なもの、不要なもの等を区分したいと考えております。

また、学校の外にある石碑等につきましては、跡地利用が具体的にになった時点で検討、回答いたしたいと考えます

(2) 学校歴史の継承について

永久保存を行うべきである沿革誌4冊、卒業生台帳5冊。他にも指導要録35冊、成績一覧表12冊、その他児童の出場した大会のトロフィー、賞状等がある。

これは、富岡小学校が歩んできた概ね150年の歴史の財産であるので、この継承、保存については、然るべき場所に亡失の無いよう保存いただきたい。

また、特に校旗については、大変思い出深い品であるので保存には十分気を使っていたきたい。

重要書類である沿革誌、卒業生台帳、また将来、富岡小学校の卒業生が必要である指導要録等につきましては、馬来田小学校へ引継ぎ保管いたします。

それ以外の重要書類、備品につきましては、保管先の検討を引き続き行っております。

なお、富岡小学校が歩んできた大切な歴史でありますので、市営博物館「金のすず」に亡失の無いように保管できる状況でございます。

また、校旗が大切なことは市教育委員会としても充分理解しております。

### (3) 閉校関係式典について

学校、PTA、卒業生、地区で実行委員会を組織し、閉校記念誌を作成するとともに、閉校式を実施することが決定した。

当然のことながら、これらについては、経費がかかるため、市からの経費負担について、配慮いただけるようお願いする。

なお、統合後の学校の名称によっては、馬来田小学校の閉校式を行う必要が考えられるので考慮が必要であるとの意見があった。

平成30年度予算において、閉校関係式典経費等の補助として教育委員会としては、補助金を交付できるよう予算要求をしております。

今後、市全体の予算の関係から財政課による査定等ございますので、金額の決定は、今しばらくの時間をいただくことをご承知願います。

なお、小中学校は「木更津市立」とあるように市が設立し運営していることから、学校の開校式典・閉校式典につきましては、基本、木更津市、木更津市教育委員会が主催して行います。

ただし、地域（地元自治会、まちづくり協議会等）が自ら主催したいとの意向があれば、その意向を尊重いたします。

### (4) 跡地の利用について

市から説明のあったサウンディング調査については、実施について了解した。

なお調査実施について、オープンで行うとともに、現地説明会が行われるのであれば、施設整備部会のメンバーが立ち会えるようにすることを要望する。

調査結果について出来るだけ、地元が活性化できる跡地利用の決定をお願いする。

また、次のとおり意見が出された。

○地域の人だけでなく、広く人が集まれるような複合施設が良いと思う。

○出来れば、富岡小学校の形をそのまま残していただきたい。

○高齢化が深刻であるので、包括支援センターの建設、保育園・駐車場が狭い公民館・郵

便局の移転、地元の人が活用している野球場、グラウンドゴルフの利用が出来れば良い。

サウンディング調査につきましては、11月9日（木）午後2時から申し出のあった事業者4社により、現地説明会が行われ、佐藤学校長及び統合準備会施設整備部会の委員も3名立ちあっていただきました。

以下、調査の経緯経過につきましては、別添資料5をご参照ください。

以 上